

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事を取材し、発信するシリーズです

51 いつの間にか加害者に

今回の記者：久留米信愛短期大学（2年）久保綾菜さん



防犯パトロールをする青パトには、注意喚起をするスピーカーを取り付けています

「巻き込まれないためにはどうしたらよいですか？」
このような犯罪の背景には、多くの場合、暴力団などの反社会的勢力が関わっています。被害者からたまし取った金は、暴力団の活動資金になります。学生をターゲットにして、「短時間で高収入が得られる」とSNS

「どのような犯罪に巻き込まれるのですか？」
本人も気付かないうちに、犯罪に負担しているケースがほとんどです。アルバイトで、店主にお客さんを呼び込むように言われ声を掛けていたら、実は違法な客引きだったとか。最近では、詐欺の手法でたまし役の「かけ子」が、被害者に電話をして金を準備させ、何も知らない大学生が、被害者と接触して金を受け取る「受け子」になることがあります。もちろん犯罪です。

大学生が知らないうちに犯罪に巻き込まれているというニュースを見ました。私たちの身近に潜んでいる犯罪を安全安心推進課の宮原工主幹に聞きました。



犯罪が身近で起こることを知りました

「市や警察の取り組みは？」
市民の皆さんが知らず知らずのうちに犯罪に巻き込まれないためには、犯罪抑止の啓発と併せて、その背後に潜む暴力団を壊滅させることが重要です。市は暴力団排除条例を制定し、補

「犯罪に巻き込まれないためには、正しい情報を得て、しっかり判断することが大切だと学びました。少しでも怪しいと思ったら、まずは周りの大人にしっかり相談をします。当事者意識を持つことが大事だと実感しました。」
助金や公共工事など市の事業が暴力団の資金源にならないよう徹底しています。年に2回「暴力団壊滅市民総決起大会」を開催して、市民の皆さんと一緒に、市民の皆さんと一緒に、暴力団壊滅市民総決起大会を開催しています。各校区の防犯活動の支援や市内の中・高校で、暴力団関連の講話や薬物乱用防止の教育など地域と警察で連携しながら取り組んでいます。皆さん一人一人が、犯罪の実態を知ることにも犯罪抑止になりますね。



暴力団壊滅市民総決起大会の最後は、参加者全員でシュプレヒコールをします

◎広報戦略課 ☎0942・3・309119、FAX 0942・3・309702



第一銀行（現在のみずほ銀行）から西側の明治通りの風景。出典：目で見える久留米の歴史

石垣を登った女学生時代
終戦の年の昭和20（1945）年は、14歳で久留米高等女学校（現在の明善高校）の2年生でした。授業ではモリス信号や手旗信号を習いました。水も食料も持たず40km歩かされたこと

昭和6（1931）年生まれ。柱島町在住

戦争体験は私たち世代で十分

今から75年前に市街地の7割を焼失した久留米空襲について語り部をしている坂井幸子さんに話を聞きました。

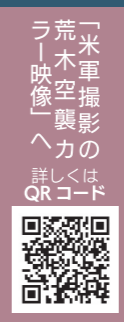
◎総務課 ☎0942・30・9052、FAX 0942・30・9706

もありました。命綱を付けずに久留米城跡地の石垣を登る訓練も。今では考えられないことばかり。深夜の空襲で寝ることもままならない日々。空から降ってくる焼夷弾はマッチ棒をパラパラ落としたようで、今でも目に焼き付いています。戦争は嫌だ、早く終わってほしいと思っても、鉄砲を担いだ大学生や凜とした姿の少年兵を見ると、とてもとも言えませんでした。

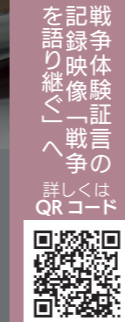
教えるのは大人の責任

せんでした。8月11日朝10時、大きなサイレンと同時に、学徒動員で働いていた日本ゴムから中央町の家まで走って帰り、いったんは防空壕に逃げ込みました。あまりの数の焼夷弾に、父が「ここは危ない」と防空壕を出ました。勢いよく燃える家や降り注ぐ焼夷弾の間を必死に走って梅満町まで逃げました。炎の中をはだして逃げる人、全身が焼け焦げ、担架で運ばれる人など、周りにはまるで地獄絵図。焼き尽くされた街を見ても涙も出ませんでした。こんな悲惨な体験は私たちの世代でもう十分。戦争の話をすると、自分とは関係ないという子どももいま

75年の時を経て
荒木空襲の動画を
ネットで初公開
昭和20年8月8日、国鉄荒木駅北上空から超低空で飛ぶP・51ムスタング戦闘機2機は、何度も旋回しながら、列車や駅周辺の建物に向け、繰り返し機銃掃射を浴びせました。翼に取り付けられたガンカメラで撮影された動画を、米国立公文書館から入手。市ホームページで初公開しています。



「米軍撮影のは、荒木空襲カクゴラ映画」へ
戦争体験証言の記録映像「戦争語り継ぐ」へ
詳しくはQRコード



歴史を受け止め 未来を変える — PEACEFUL KURUME 2020

【核兵器のない未来のための原爆展】 ■日時 7月14日（火）から19日（日）までの10時～18時 ■会場 一番街多目的ギャラリー ■内容 広島・長崎の被爆写真や講話DVD
◎原水爆禁止久留米市協議会の山田さん ☎0942・26・7253
【反戦図書コーナー】 ■日時 7月24日（祝）から8月26日（火）までの10時～18時。閉館時間は変更あり ■会

場中央図書館 ■内容 反戦図書の展示
◎中央図書館 ☎0942・38・7116、FAX 0942・38・7183
【平和なまち絵画コンテスト募集】 ■募集期間 7月31日（金）から10月23日（金）まで ■対象 6歳～15歳。優秀作品は長崎市の「平和首長会議」コンテストに出展
◎総務課 ☎0942・30・9052、FAX 0942・30・9706

